

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1. (1)】:

1. 低炭素社会 洞爺湖サミットの国際合意水準の達成(目安としてCO2排出量2t/人年)
2. 全ての市民が、健康で尊厳を持って暮らせる超高齢社会
3. 活力ある経済と健全な財政
4. 国際社会で価値ある情報を発信する都市

① 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境
 <課題・目標>【低炭素・省エネルギー】
 <取組方針>
 ①環境見える化プログラム、②サステナブルホスピタル、③バイオマスガスづくり、④ヒートポンプ(地域冷暖房に利用)、⑤小水力・地中熱、⑥プラチナモビリティ、⑦プラチナハウス、⑧コンパクトなまちづくり(歩ける街)

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. バイオマスガス等を活用したエコタウン事業
- b. プラチナモビリティ
- c. プラチナハウス
- d.
- e.
- f.

※2. (1)①取組内容のみ記載すること
 ※再掲可

② 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>超高齢化-1
 <課題・目標>【地域医療】
 <取組方針>
 ①パーソナルヘルスレコード、②健康指導・研究・認定、③大学連携型プラチナコミュニティによる脱無縁社会事業、④農園・農業を通じた社会参加とコミュニティ、⑤ロボットによるシニアの自立生活支援事業、⑦プラチナモビリティ

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. ITを利用した予防型・個別型健康サービス事業
- b. 生活モニタリング事業
- c. プラチナモビリティ
- d. 大学連携型プラチナコミュニティによる脱無縁社会事業
- e. ロボットによるシニアの自立生活支援事業
- f. プラチナハウス
- g. 農業・食を通じた健康増進事業

③ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>超高齢化-2
 <課題・目標>【地域の介護・福祉】
 <取組方針>
 ①ロボットによるシニアの自立生活支援事業(再掲)、②プラチナハウス

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. ロボットによるシニアの自立生活支援事業
- b. プラチナハウス
- c.
- d.
- e.
- f.

④ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>その他
 <課題・目標>【国際化】
 <取組方針>
 ヘルスバレー(ヘルスケア産業のためのテストベッドづくり)、国際会議((例えば、国連縮会会議や世界健康首都会議など)を毎年開催)

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. ヘルスバレー
- b.
- c.
- d.
- e.
- f.

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や

- ・<①環境、②超高齢化対応-1>歩いて暮らせる街→CO2削減、健康増進+コミュニティの維持や防犯・防災、高齢者の孤立化防止、再生エネルギー→地域の雇用創出
- ・<①環境、②超高齢化対応-2>歩いて暮らせる街→CO2削減、高齢者の生活の自立支援と消費の拡大、生活支援ロボット→高齢者の自立した生活支援、介護者の肉体的負担の軽減、介護者の雇用機会の増大、農業参加の機会→孤立の防止、エネルギー食物による環境への貢献、雇用機会の創出、地域ブランドの強化
- ・<①環境、②超高齢化対応-1、③国際化>環境と高齢化の2つの課題に対して世界に先駆けて対応→国内・海外からの観光客の増加、観光関連産業雇用の増加
- ・<②超高齢化対応-2、③国際化>ヘルスケア産業のテストベッド(実証試験の場)の提供→世界中から研究者や技術者が来訪・移住→高齢化の抑制、地域経済の活性化

+松本市の市民の健康環境、医療環境の改善